

地震や津波から身を守るために



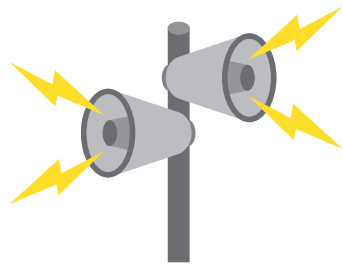
地震や津波に対する意識の違いが生死や被害の大きさを分けることから、「多分、大丈夫だろう」などと自分で判断せず、地震や津波が発生したら、次のような行動をしよう！

地震発生

揺れを感じる数秒前に

【緊急地震速報】

気象庁は、最大震度5弱以上と予想される場合、テレビ、ラジオ、スマートフォン・携帯電話などに本情報を伝える場合があります。



まずは身を守る！

安全を確保できる
場所でシェイクアウト

1. まず低く (DROP!)



2. 頭を守り (COVER!)



3. 動かない (HOLD ON!)



地震への対応

1. 火元を確認



あわてないで安全確認！

2. 出口を確保



3. 電気ブレーカを遮断



余震に注意しながら初動対応！

- ① 家族の安否を確認
- ② わが家の家屋倒壊や火災発生のおそれを確認
- ③ テレビやラジオなどから正しい情報を把握
- ④ 隣近所の安否確認と救出救護
- ⑤ 上記にかかわらず危険だと感じたら**状況に応じて避難！**

津波警報が発表された場合の対応

地震発生後から
およそ3分間を目標に

【津波警報】など

気象庁は、第1報を伝えます。



津波警報が発表されたら！

すぐに高台や避難ビルなどに避難

- ① 周りに声をかけながら
- ② 遠くより、高い所へ
- ③ 車は使わない



津波からの避難に役立てよう！

町は津波から避難する目安として右のような表示板を設置しています。また、海水浴シーズン中、湯河原海岸では、津波発生時に海の家などが赤と白の格子模様の津波フラッグを掲出します。

津波避難誘導板



海拔表示板



津波避難ビル表示板



津波フラッグ



津波から逃げ切れたら！

- ① 気をゆるめず、2波・3波に注意
- ② 警報が解除されるまで、海岸にもどらない

